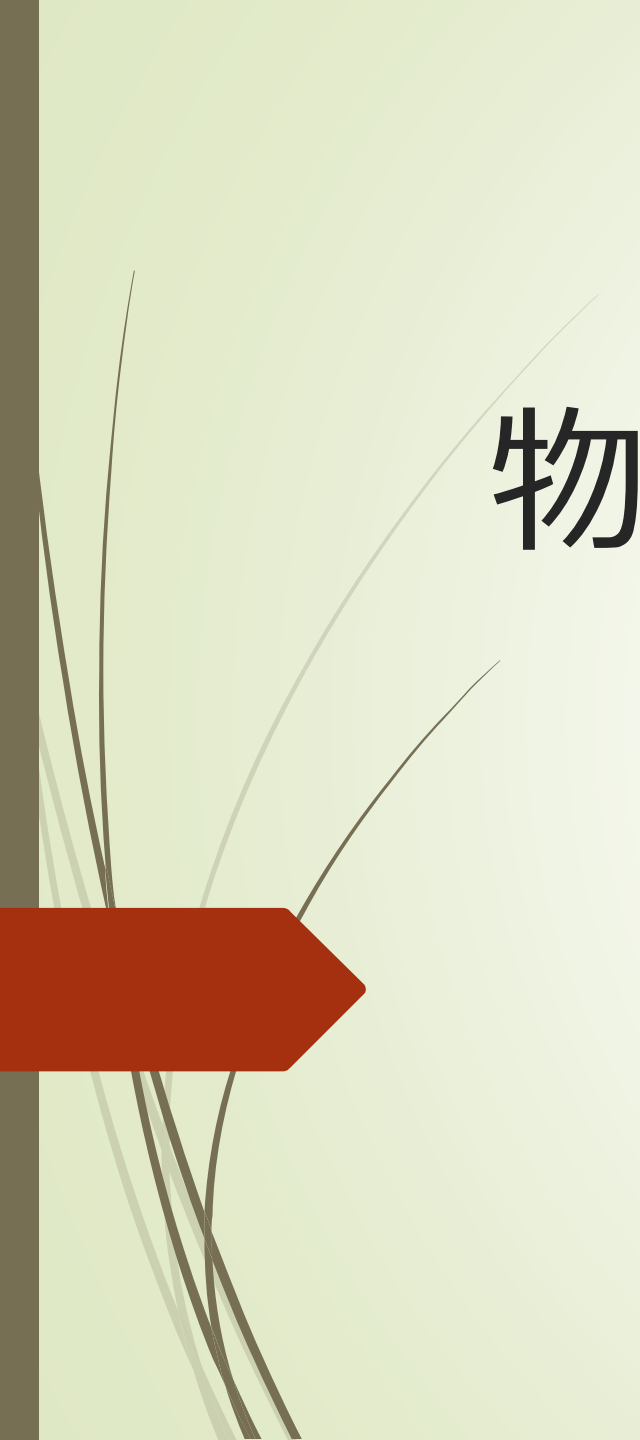




物を大切にする心を育む おもちゃ病院活動

2024 / 9 / 9

つくば市おもちゃ病院さくらんぼ
井上 修



目次

- つくば市おもちゃ病院さくらんぼの紹介
- 修理の実例
- 修理完了で子供と爺はWin-Win
- ものを大切にする心を育むには
- まとめ

つくば市おもちゃ病院さくらんぼの紹介

- 設立： 2004年
- メンバー： 15名
- 活動場所： つくば市内の交流センター
商業施設等
- 活動日数： 66回/年（2024年度予定）
- 修理実績： 650件/年 治癒率 90%



修理の実例 — 多岐にわたる



電池の液漏れ



部品の破損



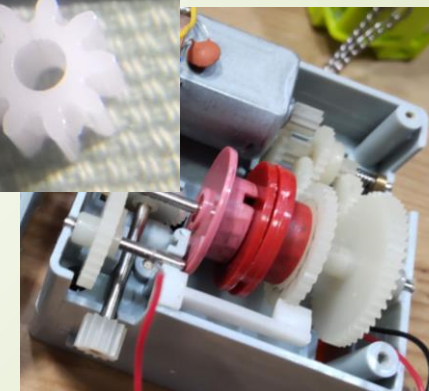
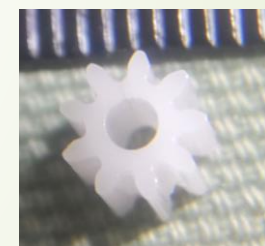
ゴムベルトの劣化



プリント基板の腐食



歯車の摩耗



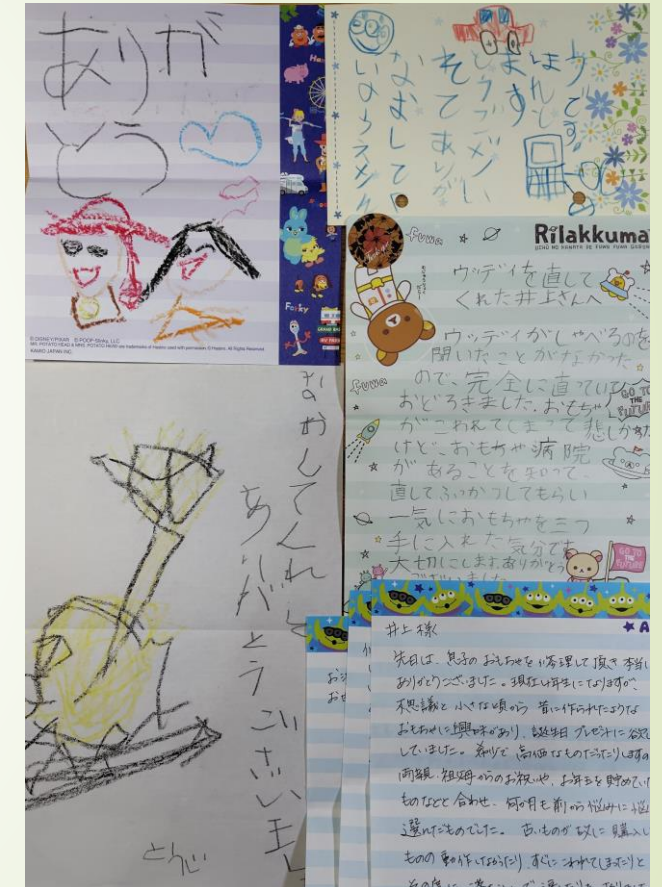
歯車にクラック

修理完了で子供と爺はWin-Win

小さな子供から「おじちゃん、ありがとう」と感謝状を頂きます

おもちゃDR.は好きなことで遊ばせてもらい感謝されます

➡一件落着、Win-Winとなるが



感謝状

ものを大切にする心を育むには

- 壊れた理由を分かり易く説明する
- 何故壊れたのかがわかれば物を大事に扱う気持ちが生まれる
- 使い捨てではなく、修理することで大切に長く使えることを理解してもらう
- 壊れた理由が分かるとおもちゃが動く仕組みに興味が生まれ、科学に対する好奇心が芽生える

The image shows a collage of several repair tickets (伝票) from a Japanese repair shop. Each ticket is a form with various fields for recording repair details. The tickets are filled out with handwritten Japanese text, including dates, times, and descriptions of the repairs. Some tickets include small diagrams or sketches of the repaired items. The tickets are arranged in a grid-like fashion, showing multiple examples of the repair record-keeping process.

修理内容を記録した伝票

子どもたちは

- ◆ おもちゃの壊れた原因がわかる
- ◆ 壊さないよう大事に扱うようになる
- ◆ 修理すれば使えることを知る
- ◆ 大切なおもちゃを長く使いたいと思う
- ◆ おもちゃの動く仕組みについて興味が生まれる



おもちゃ病院活動を続けたいと思います。

おわり